



げんき げんき わ・わ・わ
和 輪 話

女性スタッフが活躍する笑顔の
絶えないクラブ

クラブ設立は素朴な思いから

地域のB&Gに職員として勤めていた河上さん。当時は行政主催のスポーツ教室等も担当していたが、行政のしくみに縛られ、地域住民の意見が反映されない教室運営に常日頃疑問を抱いていた。

「もっと住民主体の教室開催ができないのか...」

河上さんの頭の中で描いていた、住民が主役の教室を運営すること、それこそが「総合型クラブ」だったので。

そんな気持ちが出発点のクラブだからこそ、会員目線でのアイデアがいっぱい。またクラブを手伝ってくれる地域のスタッフのみんなへの心配りも忘れていません。



さざなみスポーツクラブ
滋賀県野洲市

クラブ概要

設立年月日：平成15年4月1日（7年目）

会員数：558名

（男性 221名、女性337名）

（子ども228名、大人330名）

財源：6,974,000円

（H19年実績。補助率：46.8%）

対象人口：約12,100名

（対象人口比：4.6%）

（平成16年に旧中主町と旧野洲町が合併し野洲市に。野洲市人口50,300人）

所在地：滋賀県野洲市六条547

旧中主公民館別館1F（旧野洲郡中主町）

豊かな田園風景の広がる農村地帯。自転車で10分も走れば、琵琶湖岸にも出られる自然あふれる地域。最寄り駅から京都まで30分

電話 + FAX：077-532-4968

E-Mail : sazanami-sports-club@nike.eonet.ne.jp

キャッチフレーズ：

げんき げんき わ・わ・わ
和 輪 話

口コミで会員数が倍増！

クラブを立ち上げた時は、設立総会もなくひっそりと活動を始めたとか。しかし、その当時から大切にしていたのは、人の“わ”（和・輪・話）。会員さんと話しをし、地域の人とのコミュニケーションを図っていく中で、自然と広がっていく“わ”。この“わ”の広がりをとっても大切にしているのが、クラブマネジャーの河上さんから、事務局長の辻川さんからも、本当によく伝わってくる。話の端々に出てくる“わ”。

会員さんが隣り近所を誘ってきて、それで参加者が大勢になってたことも。

そんな風に着実にクラブのファンを増やし続けて、気がつけば、会員数も当初の倍に。

本当はもっと増やしたい、という気持ちもあるが、これ以上増えると、会員さんの顔と名前が一致しなくなる、という心配も。

そんな話をしていたら、学校帰りの中学生が、ひょっこりクラブハウスへ、「土曜日来ます！」と週末のイベントの打ち合わせにやってきた。

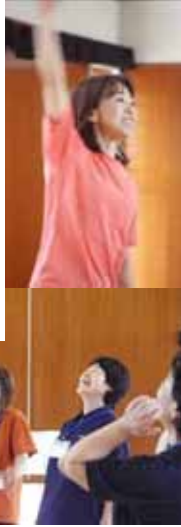
次は世代の“わ”を築いていきたい、と話す二人の目は、確実に未来を捉えている！



自分自身が楽しんでます！

事務局長の辻川さん。当初はテニス教室に通うクラブの一会員さんだった。しかし、クラブスタッフから熱烈(?)なアプローチを受け、前職を退職したと同時に平成19年からスタッフとしてクラブに関わるように。

クラブの楽しみ方を知っている辻川さん。やはり自分自身も楽しみたい!と、事務局長になった今も、「いきいき体操教室」など、週に何度かは仕事をお休みして、会員として『げんき げんき わ・わ・わ』と教室を楽しむ。



アドバイザー s eye



クラブのよさを、たくさんの地域の人に伝えるのが、アドバイザーの仕事の一つでもあるのですが、「地域が元気になる」「スポーツのバリアを低くして、たくさんの人に楽しんでもらう」などと伝えつつ、『ほんまにそんなエエことばかりなんやるか...』と疑心暗鬼になっていた頃、偶然マネジャーの河上さんとお話する機会があったのですが、河上さんの口からは、飾りっ気なく「地域みんなが元気になって...」などという言葉が、すらすらと出てきて、『ほんまやったんや~!』と私自身が元気と自信をもらって帰りました。

自然体で肩の力を抜きながらも、クラブのことを大切に思い運営している姿に、私もファンになりました!

クラブマネジャーと事務局長に20の質問!

河上ひとみさん(クラブマネジャー)

辻川眞由美さん(事務局長)

1 いつからクラブに関わっていますか

H10(設立前)から

H17(会員として)H19(スタッフとして)

2 クラブに関わるきっかけは

総合型の【そ】の字も知らなかったが、「こういうのをやりたい」というのが総合型クラブやった

テニス教室に参加していた

3 クラブに関わる前は何をしていましたか

旧中主町B&G海洋センター職員

幼稚園の職員

4 現在のクラブでのポジションは

クラブマネジャー

事務局長

5 休みがあれば(時間があれば)是非したいことは

旅行・特に今ハマっている【山】へ行きたい

染物教室・自然観察

河上ひとみさん(クラブマネジャー)

辻川真由美さん(事務局長)

6 これだけは得意！ということ

料理・春巻が得意。

花栽培(ガーデニング)

7 あなたの24時間中、クラブ占有率(時間)は

10時間(けど他にもしょっちゅう考えてるかも?)

9:00-17:00(勤務時間)

8 ここ最近の楽しみなことは

一つは秘密(これはとても楽しみらしい)
後は、夏が好きなので花火やプール

太極拳体操・いきいき教室・ハイキング
(クラブの事業です)

9 クラブを運営する上で、あなたが一番大切にしていることは

会員さん・スタッフ・指導者をつなげる【輪】、
【輪】はどんどんひろがっていく

【クラブ会員に対して】
教室で楽しそうにしている姿・会員さんとにかく直に話すこと

【スタッフに対して】
腹を割って話すこと

人の和(輪・話)をつくりたい・楽しんで
もらいたい

一緒に楽しんでほしい

10 クラブを運営してきた中で、思い出に残っている出来事は

設立して3年のスキーツアーのとき、観光バスの前に
【さざなみスポーツクラブ】と団体名のカードが貼っ
てあったのがとても嬉しかった。団体として認められ
ている、という気持ちと「定員45名がいっぱいにな
るようになったんやなぁ」としみじみ。

何かをやるうとした時に「私、これできるよ」
と気軽に声をかけてくれる。周りの協力がすく
くありがたい

11 クラブを運営する上で心配(気を遣う)ことは

やめていく方のこと。何かしゃべって理由がわかれば
いいが、理由がわからないのが(何かあったのか
な、と)一番気を遣う

新しい教室を開催した時に、受講生が少なく
ないかどうか。山などへいった時のケガなど

12 そのリスクを減らすために実施していることは

欠席しがちな方に電話をしたり、積極的に声かけ
をするように心がけている

とにかく声かけ。事前告知をして会員さんにさらに人
を呼んできてもらう。保険・準備体操・心の準備

13 クラブを運営する上でとても時間のかかることは

スタッフの育成。ただのお手伝いから本当にクラ
ブの本質を理解して、長く関わってくれるスタッ
フを増やすこと

3月にさざなみまつり。運営委員の中から実行委員
会をつくり準備しているが、やることがありすぎて
何からしてよいのかわからないくらい。

14 現在のクラブ満足度は

80%

100%

河上ひとみさん(クラブマネジャー)

辻川眞由美さん(事務局長)

15 これからやろうかどうか迷っていることは

今と同じような状態(規模や組織体)でいいのか。NPO取得なども考えなければならない時期かも

親子の教室・アラカルト(いろんな種目ができる教室)

16 自分のクラブ以外のおすすめクラブは? また他のクラブから学んだことは

しまもとバンブークラブ(大阪府島本町)

さざなみ(自分の所!)

希楽々(新潟県村上市)の事例で、高齢者が小中学生にバウンドテニスを指導しているというのを聞いて、とても素晴らしい取り組みだと思った

17 これからの3年間で達成したい目標は

10周年には何か打ち上げ花火をあげたい
来年3月の【さざなみまつり】を成功させたい

さざなみまつりの定着

会員数を増やす。目指せ600人!

お父さんスタッフ。ご自信も会員になってくれるような仕組み(自分も楽しんでもらいたい)

18 その目標を達成するために最近何かしたことは

さざなみまつりのための【ゆるキャラ】集め(ドウタクくん・おーみん・キャッフィーなど)

とにかく声かけを増やしています!

快く頼みやすいスタッフさがしのアンテナをさらに高くはっている

19 最も感謝していることは

家族の支え・理解。

健康でいさせてもらえること。【人】声をかけてくれる人。一緒にできる人。そんないろんな人がいてはること。

20 もし困っているクラブにあえて一言かけるなら

自分だけじゃなく、関わっている人が皆、楽しい。人の笑顔を見てるのが自身の喜びになる。誰かに負担がかかりすぎるとしんどいからみんなが笑顔でいられるように。

歩みは少しずつ続けることが大切。声かけが大事。ちょっとずつでも進んでいたら、道が開けてくる。地道な努力。

インタビューを終えて...



インタビューを行っている間、お二人の口からはキャッチフレーズの「わ・わ・わ」が幾度となく出てきました。クラブにとって理念が大切、とよく聞きますが、今回改めて痛感しました。さざなみスポーツクラブでは“人が話をし”それによって“人が和み”そして“人の輪”ができる。このことを本当に大切にして、スタッフが運営をしていました。形にこだわらず、理念を大切に運営していくクラブが全国各地に広まれば、地域は必ず元気になり、変わっていくんじゃないか、と強く感じました。